

校訓	盡己	令和5年度学校通信 「松中だより」 第21号	発行日	令和5年10月31日
教育目標	未来を創造、たくましく生きる生徒の育成 ～地域・家庭とのつながりによる レジリエントな学校を目指して～		発行者	伊丹市立松崎中学校 校長 今井 克己

【熱響宣言・・・文化発表会終了】

10月27日(金)に文化発表会を実施いたしました。合唱コンクールでは、各学年とも質の高い合唱を披露し、演奏後に充実感あふれる表情がみられました。今年は練習時に縦割り活動を取り入れましたが、保護者アンケートの中にお子様の様子として、「・・・他の学年と練習をした時は先輩達が上手だった！と刺激を受けていたようです。ありがとうございました。・・・」といった記述が見られました。先輩がしっかり役割を果たし、後輩がしっかり学んだことが良い成果となっているように思います。

その他の舞台発表、展示発表も各教科、部活動、学年で工夫が見られ、しっかり「Enjoy」しているようでした。

合唱コンクール 各学年の最優秀クラスは以下の通りです。

【1年】 1組「HEIWAの鐘」

【2年】 3組「消えた八月」

【3年】 3組「通りゃんせ・あんたがたどこさ」 5組「一番はじめは・ずいずいずっころばし」

【4年】

※1年1組、2年3組は8中学校の代表クラスが出演する交歓音楽会に出場いたします。

交歓音楽会 11月1日(水)14:15開演 東いいたみホール

・松崎中学校の出演予定時刻は15:20ごろですが、進行の状況によって早まる場合があります。

早めにご来場ください。



【文化発表会保護者アンケート】

体育大会に続き、文化発表会でも保護者の皆様にアンケートを実施しております。

QRコードを読み取り、参観された感想やご意見等をお寄せください。今後の教育活動を見直す参考にさせていただきたいと思っております。11月6日(月)まで受け付けております。よろしくお願いいたします。

<https://forms.gle/rpWbbx7VECMhsRHWA>



【全国学力・学習状況調査 その3 学力向上プラン】

松中だより14号、18号でお知らせしている今年度の全国学力・学習状況調査の結果をうけて、各教科で分析を行いました。【成果】、【課題】を分析し、学力の向上にため今後取り組んでいく内容がまとめられています。文字ばかりで少し読みづらいかもしれませんが、ご一読ください。



国語

【成果】

- ・課題探求型の授業づくりやグループで作品を読み、課題を説明するためのプレゼンづくりに取り組んだ。その結果、「国語の授業内容はよくわかる」が、81.7%が肯定的な回答をしている。
- ・「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」が、88.2%が肯定的な回答をしている。スピーチに関する問題は、すべて正答率80%以上を達成することができた。

【課題】

- ・同音異字の問題の正答率が40.3%と低かった。漢字小テストを実施する機会を増やし、語彙の定着を図りたい。
- ・現代語と古文を比較して読む問題の正答率54.5%と低かった。古文に慣れ親しませることや比較して読む場面を設定し、読解力の向上を図りたい。

数学

【成果】

- ・「数学の勉強が好きですか」の肯定的な回答が60.4%と全国平均(56.7%)を上回った。その他にも、質問紙(56)～(58)(数学の勉強は必要、授業の内容はよく分かる、社会に役立つ)において、肯定的な項目を選択した生徒が全国平均をすべて上回った。単元毎のレポート課題の自由研究や数学通信の発行などが数学に対する興味・関心や実生活につなげることができた。
- ・昨年度から習熟度別授業を実施し、数学が苦手な生徒が積極的に学習に取り組むことができた。
- ・普段の定期テストや学習タイムでの復習問題を繰り返し行ったことにより、自然数の意味が56.0%(全国平均46.1%)、数と数式の計算が86.3%(全国平均80.5%)や四分位範囲の意味が74.3%(全国平均65.7)など、基礎的な問題で全国平均を上回った。

【課題】

- ・図形やデータの活用において、既習内容の基礎知識の定着が不十分であった。
- ・関数の記述式など、説明の過程でグラフなどを活用する問題を苦手としている生徒が多いため、授業で活用する機会を増やしたい。

英語

【成果】

- ・「英語が好き」の肯定的な回答が59.2%と全国平均(51.9%)を上回った。その他にも、質問紙(60)～(62)(英語の勉強は必要、授業の内容はよく分かる、社会に役立つ)において、肯定的な項目を選択した生徒が全国平均をすべて上回った。
- ・ドリル練習や学習会等で、問題に取り組むことで、生徒に自信をつけさせることができた。

【課題】

- ・覚えた単語を活用することに課題があるため、単語の意味や文章での活用をしっかりと理解させたい。
- ・「話すこと」は、平均正答率が6%(全国平均12.4%)と喫緊の課題であるため、自分の考えをまとめ表現する力をつけ、話す機会を増やしたい。

